

令和 7 年度

一般選抜 A 日程 (2/3) 選択 (政治・経済)

出題意図

I	2024 年度は、アメリカ大統領選挙が実施され、日本では衆院議員選挙が実施されるなど選挙に関心が集まる年であった。この国内外の情勢を踏まえ、大問 I では、日本における国政選挙をテーマに設定し、問題を出題した。特に次の観点から受験生たちが国政選挙に関連する基礎知識を多面的かつ正確に身に着けているかどうかを確認した。(1)選挙制度と民主主義の理念の結びつきに関連する基礎知識を身に着けている。(2)現行の日本/海外の国政選挙制度、日本における国政選挙制度の歴史的推移に関連する基礎知識を身に着けている。(3)一票の格差に関連する基礎知識を身に着けている。(4)日本の国政選挙における議席配分に関連する基礎知識を身に着けている。
II	・ 平均点が 7 割 (25/35 点) になるような難易度であること。 ・ 文科省指定教科書のうち、採択率上位 3 社を対象に、教科書に忠実な問題を作成すること。 ・ III はミクロに対し、II はマクロを対象として、範囲が被らないこと。 ・ 毎年、出題範囲を変えること。 ・ 計算問題を含むこと。
III	今年度我が国では日本銀行によるマイナス金利の解除および 17 年ぶりの利上げ実施などにより金融政策の正常化が進んだ。また、日経平均株価が約 34 年ぶりに最高値を更新するなど、デフレからの脱却に向けた大きな転換点を迎えた。そのような中で、大問 III では現代経済のしくみに関して出題し、経済活動の意義、市場メカニズムと各経済主体の役割に関する基本的理解を確認した。